# 金鵄の翼（きんし ひな）

長野県長野高等学校
定時制だより第9号
2023年2月21日


## 長野東スーパーフレックス新校　再編実施計画懇話会

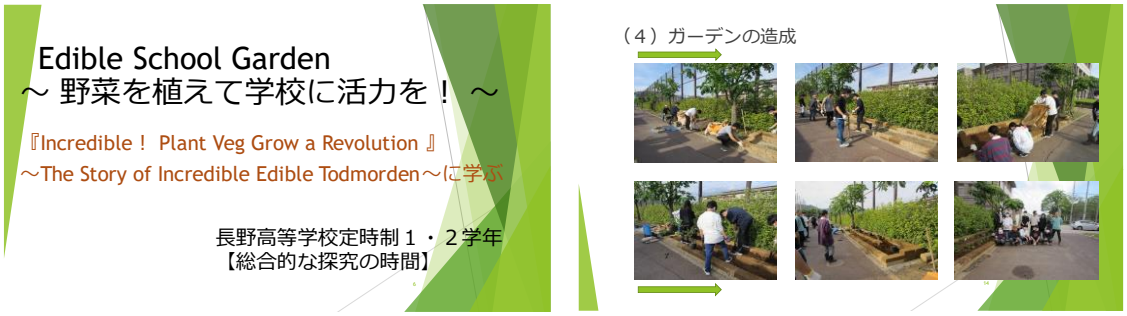
２月５日(月)、大雪の降る中、長野県庁にて「第４回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会」が開かれました。

長野高校定時制は、長野県の「再編・整備計画【三次】」において、長野東(全日制)、長野吉田戸隠分校(定時制)、長野商業(定時制)、長野西(通信制)とともに、「長野東スーパーフレックス新校(仮称)」に再編されることが決まっています。再編実施計画懇話会は、学校関係者や自治体、学識経験者によって構成され、新校が新しい教育の場としてどうあるべきかを、みんなで考えていく大切な場です。

今回第４回と、前回第３回では、再編対象各校が、それぞれの学校の特徴や新校に引き継いでいきたいと考える活動を発表し、その後グループに分かれて、「新校を生徒がどんなことができる学校にしたいか」を話し合うという構成となりました。

第４回は、長野吉田高校戸隠分校、長野高校、長野東高校の発表。いずれも生徒自身が大勢の構成員の前で、自分たちの学校の良さや特徴について自分たちの言葉で話をしてくれました。

長野高校からは３人の生徒代表が、総合的な探究の時間における菜園造りについて説明しました。




人心の荒廃したイギリス、トッドモーデンの町を、誰もが自由に食べることができる菜園を作ることで蘇らせたインクレディブル・エディブル運動の理念をベースとし、多くの人々が結びつくことを目標とした長野高校定時制独自の実践「Edible School Garden」を、堂々と発表しました。懇話会の出席者からは、すばらしい活動だとお褒めの言葉をいただきました。

その後のグループワークにも参加した生徒たちは、他校の様子がよく分かる貴重な体験だったと、話をしてくれました。

他の学校の発表も素晴らしく、それぞれの学校の良さを踏まえながら生徒たち自身も新校について意見を述べることができた、有意義な懇話会となりました。　　（文責　定時制教頭）